

# 決算説明会

## 2006年3月期中間期

2005年11月1日  
ミネベア株式会社

# 1. 業績の説明

## 2. 方針と戦略

2005年11月1日



# 業績の説明

取締役 常務執行役員 加藤木 洋治

2005年11月1日



業績の説明は全て連結ベースです。

# 連結業績ハイライト

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期	前年同期比 伸び率	2006年3月期 中間期	
	中間期	中間期		期初計画	達成率
売上高	146,751	155,739	+6.1%	142,000	109.7%
営業利益	5,468	7,224	+32.1%	7,500	96.3%
経常利益	3,885	5,322	+37.0%	5,500	96.8%
税引前利益	3,391	4,425	+30.5%	4,500	98.3%
純利益	1,095	2,421	2.2倍	3,000	80.7%

売上高は計画を上回って増加。  
利益は計画を若干下回ったが前年より大幅に改善。

為替の影響 05/3期中間期 → 06/3期中間期  
US\$ 109.43 円 → 109.39 円  
タイパツ 2.69 円 → 2.69 円  
売上高 +9 億円、営業利益 +1 億円

2005年11月1日

3



2006年3月期中間期の連結業績は、売上高1,557億円(前年同期比6%増)、営業利益72億円(前年同期比32%増)、当期純利益24億円(前年同期比2.2倍)となりました。

期初計画に対しては若干届きませんでした、昨年度の上期に対して大幅な増益でした。

# 四半期業績

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期		前年同期比 伸び率
	2Q	1Q	2Q	
売上高	75,427	75,690	80,049	+6.1%
営業利益	2,666	3,010	4,214	+58.1%
経常利益	1,903	2,163	3,159	+66.0%
税引前利益	1,454	830	3,595	2.5倍
純利益	887	980	1,441	+62.5%

2Qの売上高は1Qに引き続いて好調。  
利益は1Qから大幅に改善した。

2005年11月1日

4



四半期ベースでは、第2四半期は、売上高800億円、営業利益42億円、当期純利益14億円となりました。第1四半期に比較して利益を大きく改善し、第2四半期の営業利益は前四半期比12億円改善しました。

# セグメント別収益

(百万円)	2005/3期	2006/3期			前年比 伸び率	上期	実績 対計画
	上期	1Q実績	2Q実績	上期実績		5月発表計画	
<b>〔売上高〕</b>							
機械加工品	57,350	30,573	31,631	62,204	+8.5%	58,500	106.3%
ベアリング関連製品	49,153	25,982	26,402	52,384	+6.6%	49,800	105.2%
その他機械加工品	8,197	4,591	5,229	9,820	+19.8%	8,700	112.9%
電子機器	89,400	45,116	48,419	93,535	+4.6%	83,500	112.0%
回転機器	54,061	26,443	27,880	54,323	+0.5%	49,600	109.5%
その他電子機器	35,340	18,673	20,539	39,212	+11.0%	33,900	115.7%
<b>合計</b>	<b>146,751</b>	<b>75,690</b>	<b>80,049</b>	<b>155,739</b>	<b>+6.1%</b>	<b>142,000</b>	<b>109.7%</b>
<b>〔営業利益〕</b>							
機械加工品	10,478	5,067	6,045	11,112	+6.1%	11,250	98.8%
電子機器	△ 5,010	△ 2,056	△ 1,831	△ 3,887	—	△ 3,750	—
<b>合計</b>	<b>5,468</b>	<b>3,010</b>	<b>4,214</b>	<b>7,224</b>	<b>+32.1%</b>	<b>7,500</b>	<b>96.3%</b>

2005年11月1日

5

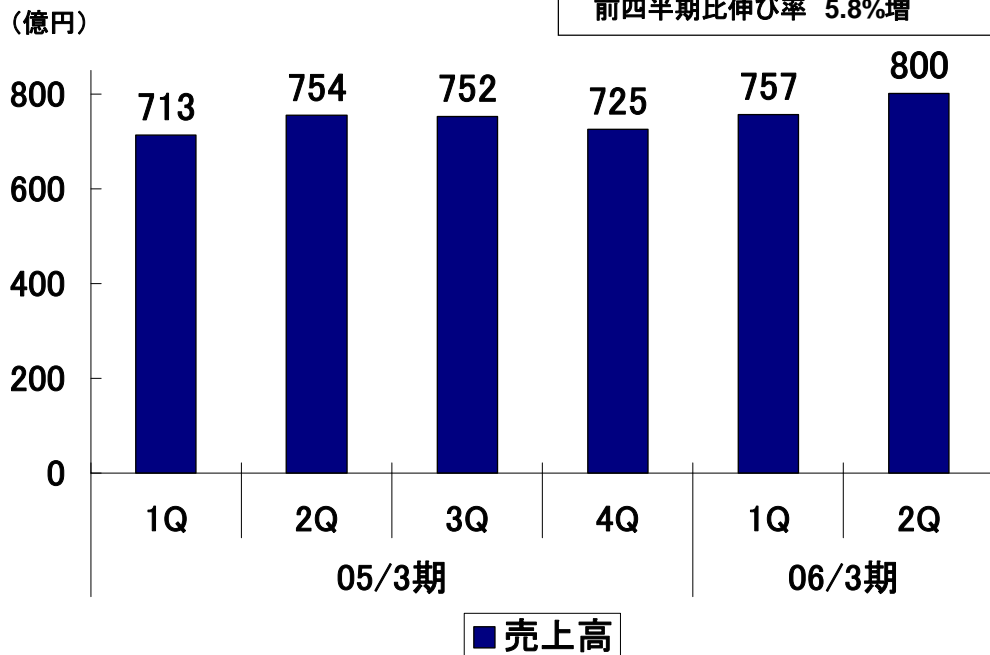


セグメント別の詳細です。売上高は全て計画を達成、営業利益は若干未達になりました。

機械加工品事業では、ピボットアッセンブリー、ロッドエンドの利益が大幅増となり、ボールベアリングも増加しました。

電子機器事業では、第2四半期にHDDスピンドルモーターの利益が第1四半期より改善しましたが、課題となっている事業で損益改善に至っていない事業があります。

# 売上高



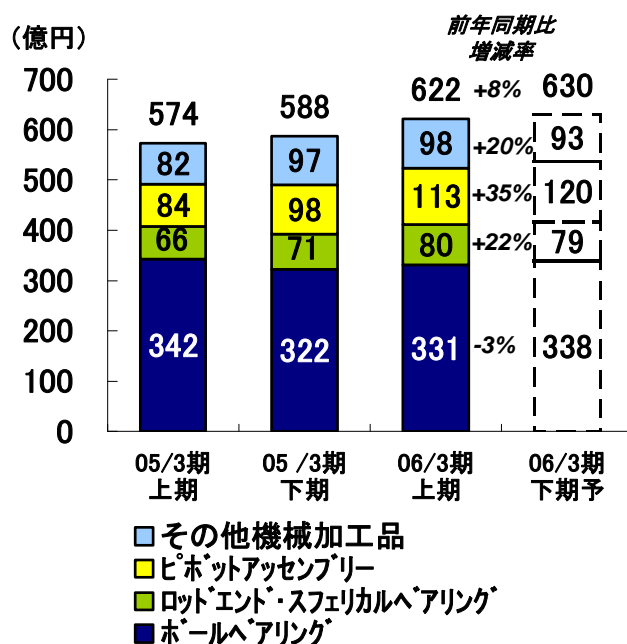
2005年11月1日

6



第2四半期の売上高は第1四半期よりさらに増加し、800億円でした。四半期の季節的な増減がありますが、順調に増加傾向にあります。

# 機械加工品セグメント 売上高



## 実績

ピボットアッセンブリーが昨年より大きく増加。3.5インチ及び2.5インチ用が伸び、2Qの売上は1Qよりさらに拡大。

ロッドエンドも航空機向けに引き続き好調。

2005年11月1日

7



機械加工品事業は売上高が順調に伸びており、上期の売上高は622億円に達し、前年比9%増でした。

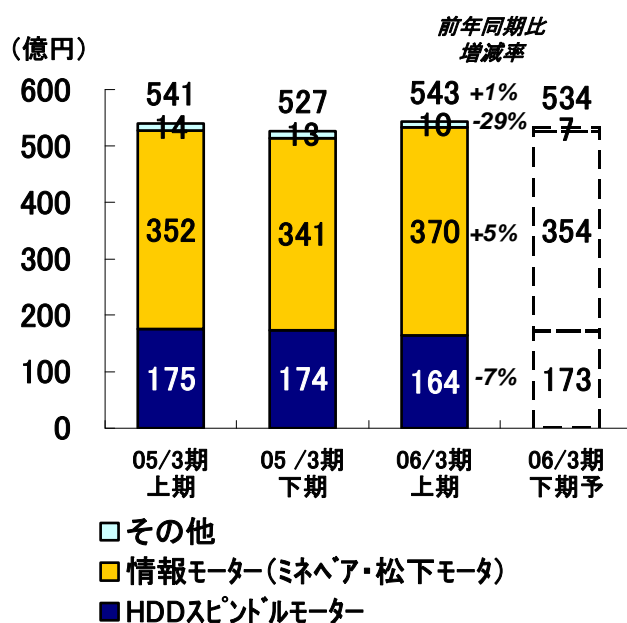
ベアリングの販売が昨年度下期より伸びました。

ロッドエンドやその他の航空機用ベアリングも引き続き好調でした。また、その他機械加工品に含まれるネジや特殊機器の売上も増加しました。

3.5インチと2.5インチの需要が旺盛で、HDD向けのピボットアッセンブリーの販売が第2四半期に第1四半期よりさらに増加しました。



# 電子機器セグメント回転機器 売上高



## 実績

ミネベア・松下モーターのファンモーターの売上高が昨年比増加。2Qは、1Qよりステッピングモーターと振動モーターの売上高が増加。

HDDスピンドルモーターは、販売を一定水準に維持する方針のため増えていない。

2005年11月1日

8

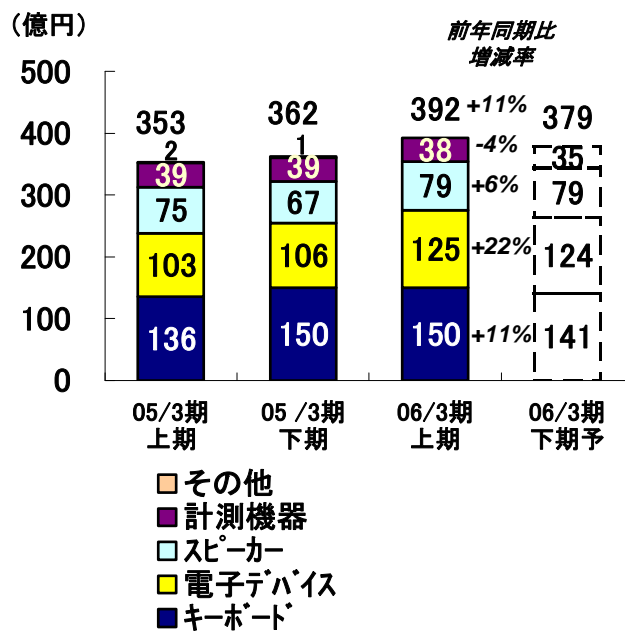


電子機器セグメントのうち、回転機器事業の売上高は横ばいでした。上期の売上高は543億円、前年比1%増加しました。

HDDスピンドルモーター事業では、損益改善に集中する方針のもと販売水準を一定にしているため、売上は減少しました。

情報モーターにつきましては、PC向けにファンモーターが好調に推移し、昨年度上期より売上が伸びました。

# 電子機器セグメントその他電子機器 売上高



## 実績

電子デバイスのうち、バックライトが増加。携帯電話用の受注が増加。

2005年11月1日

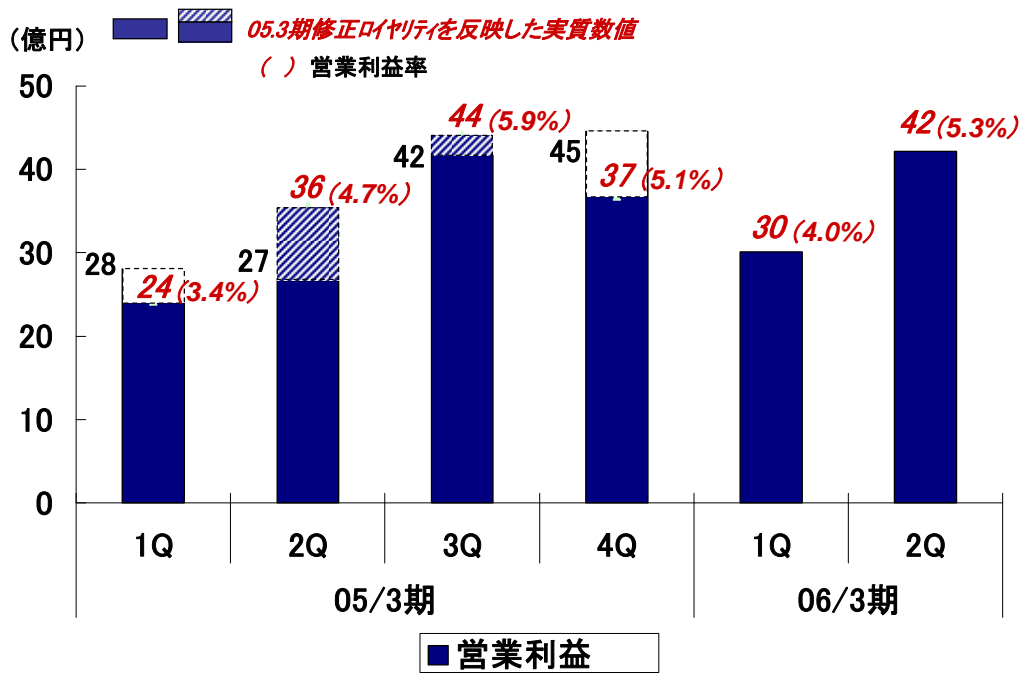
9



その他電子機器は、全体的に増加傾向にあります。上期の売上高は392億円で、前年比11%増加しました。

上期、キーボードの売上高が増えました。また、バックライトの受注が好調であり、急速にビジネスを拡大しています。

# 営業利益



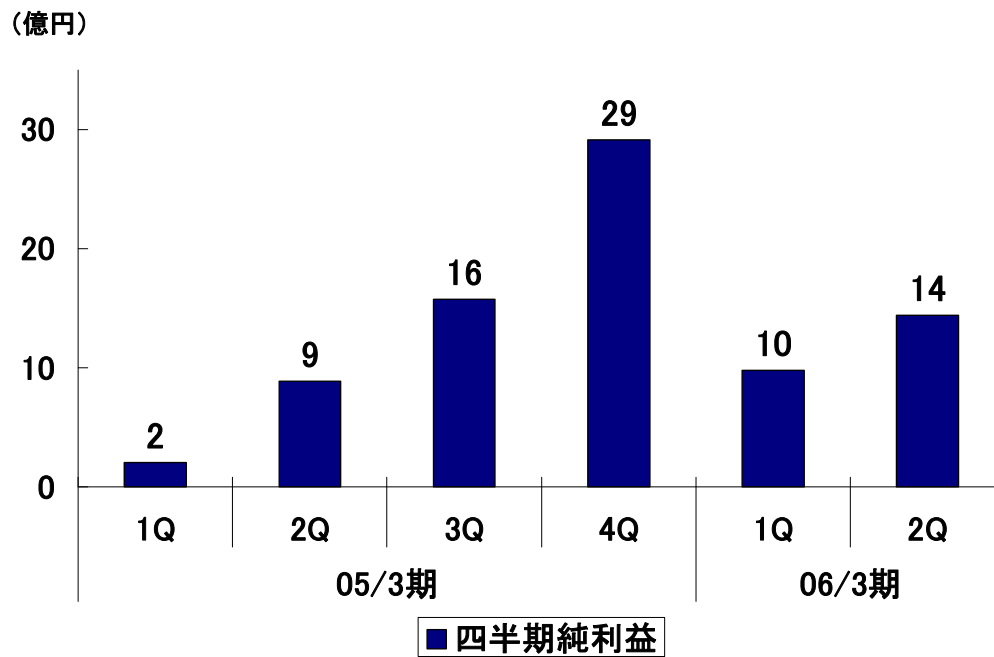
2005年11月1日

10

Minebea

第2四半期の営業利益は、42億円でした。昨年度の業績をミネベア・松下モータ合弁事業の不規則なロイヤリティ支払いを修正して表示すると、このグラフの赤字のようになります。下期にさらに業績を改善させることで、第2四半期の利益回復の結果をより確かなものにしていきたいと考えています。

# 当期純利益



2005年11月1日

11

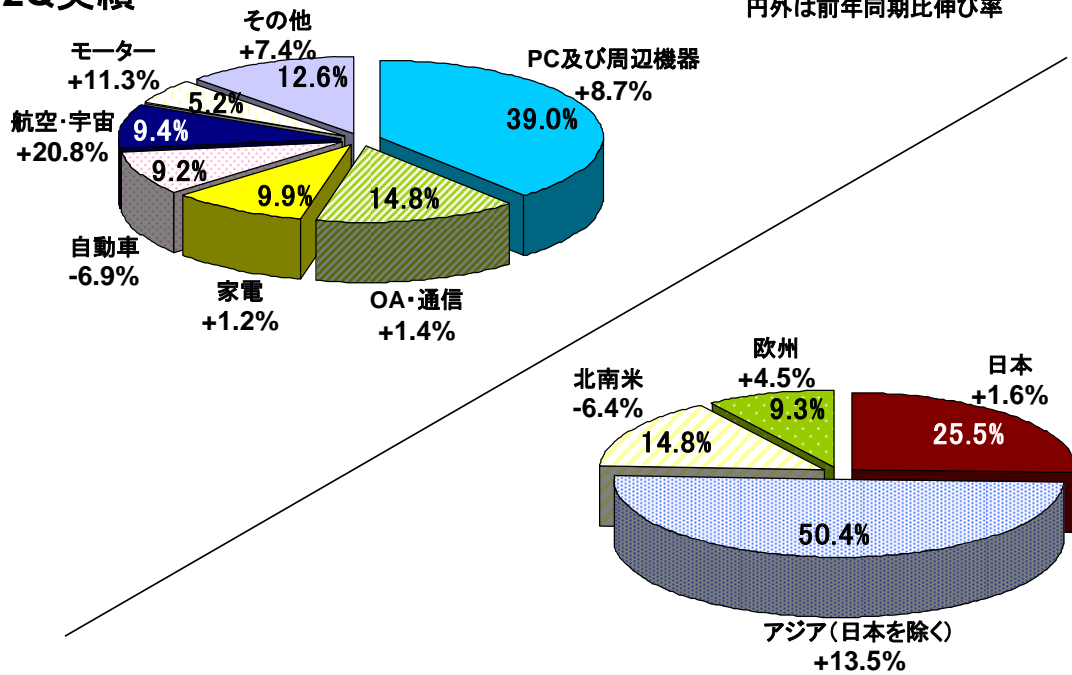
 Minebea

第2四半期の当期純利益は、14億円でした。

# 用途別・地域別売上高

## 2Q実績

円内の数字は売上高比率  
円外は前年同期比伸び率



2005年11月1日

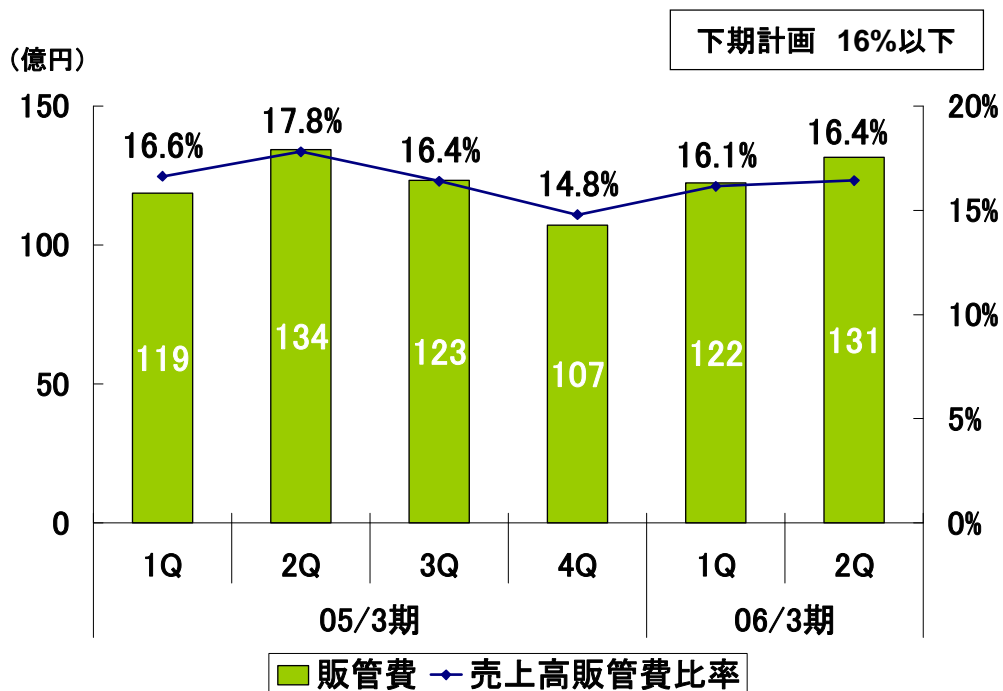
12



用途別の売上高は、第2四半期の航空機用が引き続き好調で、前年比20%強増えました。PC向けも順調でした。

地域別では、アジア地域が引き続き伸びており、特に中華圏が伸びています。

# 販管費



2005年11月1日

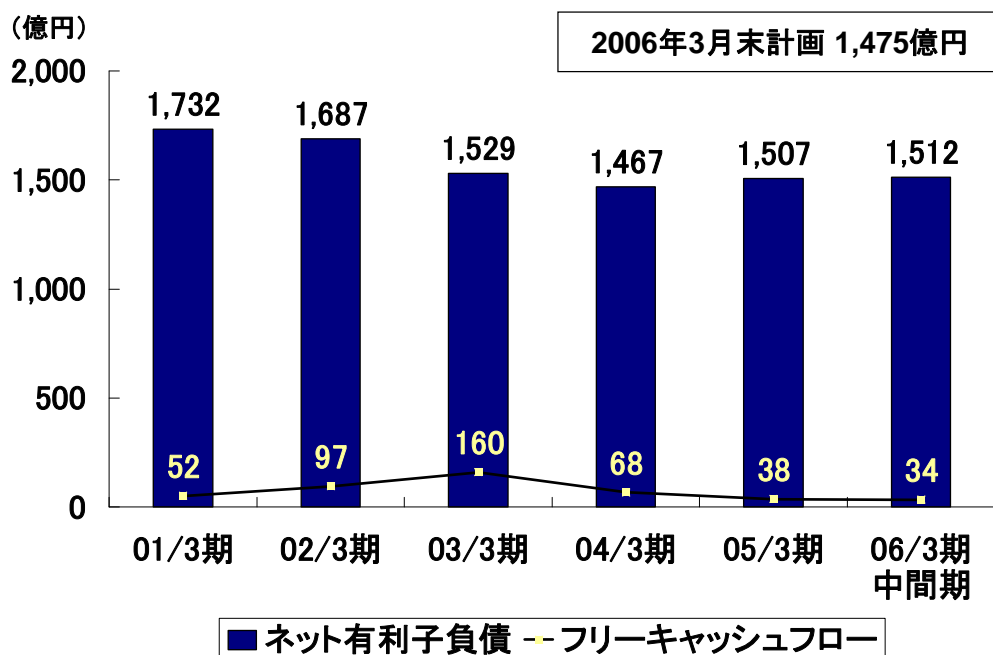
13

Minebea

第2四半期の販管費は131億円、売上高販管費比率は16.4%でした。

売上高が増え、経費が増えています。期末までには売上高販管費比率を下げる計画です。下期は16%以下を目指しています。

# 有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金  
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF - 投資活動CF

2005年11月1日

14



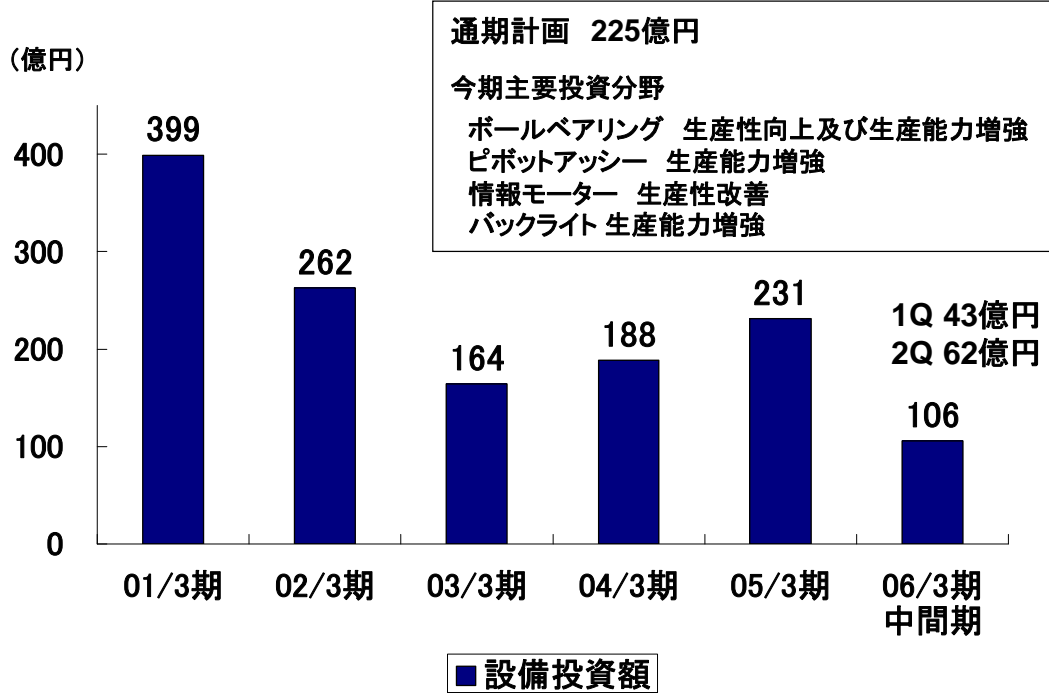
中間期末の現預金を差し引いたネットベースの有利子負債は1,512億円でした。

第1四半期末の1,543億円から30億円削減しました。第2四半期は利益の改善により、キャッシュフローがプラスに転じました。

また、円安の影響もありました。今年3月末との比較では、円安による増加の影響が11億円ありました。

来年3月末は1,475億円を見込みます。

# 設備投資額



2005年11月1日

15



中間期の設備投資額は106億円、第2四半期では62億円でした。

通期の予定に変更はなく、225億円を予定しています。今期は主に、ベアリング、スピンドルモーター、ミネベア・松下モータ、バックライトへの投資を実施しています。



## 通期業績予想

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期修正予想			前年比	通期
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	伸び率	従来予想
売上高	294,422	155,739	154,261	310,000	+5.3%	295,000
営業利益	14,083	7,224	10,776	18,000	+27.8%	18,000
経常利益	10,206	5,322	8,678	14,000	+37.2%	14,000
税引前利益	7,778	4,425	8,075	12,500	+60.7%	12,500
(当期)純利益	5,581	2,421	5,079	7,500	+34.4%	7,500

2005年11月1日

16



通期の予想については、売上高を見直しましたが、利益は変更していません。売上高は従来予想の2,950億円を3,100億円に修正しました。

# 通期セグメント別予想

(百万円)	2005/3期		2006/3期		前年比 伸び率	通期 従来予想
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		
<b>〔売上高〕</b>						
機械加工品	116,105	62,204	62,996	125,200	+7.8%	119,900
ベアリング関連製品	98,218	52,384	53,716	106,100	+8.0%	101,600
その他機械加工品	17,887	9,820	9,280	19,100	+6.8%	18,300
<b>電子機器</b>						
回転機器	178,317	93,535	91,265	184,800	+3.6%	175,100
その他電子機器	106,750	54,323	53,377	107,700	+0.9%	105,400
合計	71,566	39,212	37,888	77,100	+7.7%	69,700
<b>〔営業利益〕</b>						
機械加工品	294,422	155,739	154,261	310,000	+5.3%	295,000
電子機器	21,572	11,112	12,138	23,250	+7.8%	22,750
合計	△ 7,489	△ 3,887	△ 1,363	△ 5,250	—	△ 4,750
合計	14,083	7,224	10,776	18,000	+27.8%	18,000

2005年11月1日

17



通期予想のセグメント別内訳です。

下期の機械加工品事業の営業利益は上期から若干増加、電子機器の営業利益は課題事業の損益改善により、上期から大きく改善すると見えています。

# 方針と戦略

代表取締役 社長執行役員 山岸 孝行

2005年11月1日



# 2Qの実績

## 収益の改善（短期的成果）

### ◆ ピボットアッシー

- 2Qは過去最高の売上高を更新、前年同期比30%増
- 採算性を大幅に改善
  - 製造原価の低減 … 組立の歩留まり向上と部品の原価低減
  - 生産能力の向上 … 尚、来期月3,000万台への体制作り
  - 販売単価の是正

### ◆ HDDスピンドルモーター

- 生産販売数量を一定水準に維持し、原価低減に集中した
  - 部品歩留まりの向上及び外注部品の内製化
  - 組立工程での人員削減 … 作業改善と品質向上  
… 工程の短縮

2005年11月1日

19



当社にとって最優先課題として取り組まなければいけないのが短期収益の改善です。

損益面で課題があるいくつかの事業のうち、ピボットアッシーやHDDスピンドルモーターで、確実な改善がありました。

ピボットアッシーの第2四半期の売上高は旺盛なHDD需要に支えられて大幅に増加し、前年同期比30%増となりました。下期はさらに増える見込みです。年末までに月産2,800万体制を構築し、来年は月産3,000万台体制を構築していく予定です。部品のコストダウンと組立の歩留まりの向上により、コスト削減が着実に進んでいます。

スピンドルモーターについても、着実にコスト削減が進んでいます。下期は大幅に損益を改善できる見込みです。現在、数量を一定水準に保ち、コスト削減に集中して取り組んでいます。部品歩留まりの向上、外注部品の内製化、作業及び工程の見直しによる組立工程での人員削減に取り組んでいます。

# 2Qの実績

## 収益の拡大（成長事業）

### ◆ ロッドエンド、航空機用ベアリング

- 旺盛な航空機需要に対応して、生産能力を拡大
  - 軽井沢、米国、英国の3拠点で需要地生産
- 低コスト体制の構築と製品範囲の拡大
  - タイで前工程生産を本格稼働
- 高付加価値分野も新規取り込み

### ◆ ライティングデバイス

- 技術開発力の強化により技術面での優位性を確立
  - 新型高輝度・超薄型バックライトが好評、4月 市場紹介開始、10月 販売開始
- 事業規模の拡大と体制の強化
  - タイ工場内に設計部隊を設置して納期を大幅に短縮
  - 効率を追求した在庫ゼロ物流体制を構築

2005年11月1日

20



成長事業の収益は拡大しています。

ロッドエンドについては、航空機の需要の拡大はしばらく続くと見えています。戦略的に事業をより拡大するために、生産能力の増強のほか、価格対応、高付加価値製品分野の新規開拓に取り組んでいます。タイで前工程の生産の本格稼働を開始しました。

ライティングデバイスは、上期に、日亜化学の協力を得て開発した高輝度・超薄型バックライトを客先に紹介し、技術的な優位性を確立しました。

また、事業規模の拡大と体制の強化のために、タイ工場内に設計部隊を設置し、納期への対応と在庫リスクの減少のために在庫ゼロ物流体制を構築しました。

# 課題三事業の収益改善に向けて(下期)

## ◆ HDDスピンドルモーター

- 2Q中に改善施策の明確な成果を確認
- 2.5インチをさらに増やし製品構成比率を変える
- 製品開発の効率化・・・ドイツへの集約

## ◆ ミネベア・松下モータ合弁事業

- 9月に構造改革を終了・・・効果を確認中
- 金型及び構成部品のコストダウンの追求
- 新製品投入への開発陣容の強化

## ◆ キーボード

- 9月にタイから上海へノート用の生産移管をほぼ終了・・・効果を確認中
- 移管モデル(ノート)生産のための作業者の習熟度引き上げ
- 高材料費比率モデルの価格引き上げの活動を実施中

2005年11月1日

21



三事業の収益改善については、HDDスピンドルモーターは、前述したとおり改善の効果がありました。

下期は、今のコスト削減施策をさらに進めていきます。

ミネベア・松下モータについては、9月に構造改革を終了したので、下期に効果を確認していきます。追加施策として、金型及び構成部品の原価低減、新製品開発強化に取り組んでいます。

キーボードについても、タイから上海への生産移管が9月にほぼ終了しました。現在、移管したノート用キーボードの生産性の向上を進めています。また、昨年大幅に上昇した原材料コスト全てを原価低減で吸収することは難しく、価格の引き上げ取り組んでいます。

# ボールベアリング事業拡大強化策

---

- 社内使用分が伸び、2Qの販売数量は前年同期比7%増。下期は外販も増え10%増を見込む。
- ピボットアッシーやファンモーターの需要増加に伴い増産を実施中。
- 原価低減をさらに追求。
- アプリケーションで要求される特性の多様化に対応し、製品開発力を強化。

2005年11月1日

22



ボールベアリングの第2四半期の販売は、社内使用分を含めて、前年同期比7%伸びました。下期は需要の勢いが増す見込みで、前年比10%増を見込みます。

なかでも最近では、HDD、PCや家電向けにピボットアッシーやファンモーターの需要が伸びているため、このような旺盛な需要に対応して生産能力を引き上げることを決定しました。

原価低減は永遠のテーマであり、もう一段踏み込んだ更なる原価低減を行うことにしました。また、ベアリングの中でも、要求される特性がさらに多様化していますので、製品開発をさらに強化していきます。

# ミネベア株式会社

## 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

2005年11月1日

